

4月15日(月)

神様の御口のいぶき

聖書朗読 詩篇 33:4~8

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。

ヨハネ 3:16

今日のカ

2013年4月15日~4月21日

翻訳 村越克子

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

今日の聖句の詩篇の言葉は、私たち一人ひとりへの励ましに満ちています。天の万象にいぶきを与えられた神様によって、私たちは造られました。私たちには、何百万もの鑑賞する星があり、またその星々は夜の道案内になってくれます。私の家族がよく使う言葉に「ちょっと息をしてごらん下さい」というのがあります。人生が立ち行かなくなったとき、私たちはまず息をすることを思い出すべきです。神様の慈しみの中で息をして、重荷となっている心配事を吐き出します。

また詩篇は、地上が神様の真実の愛で満ちていることを私たちに思い起こさせてくれます。神様は、御口のいぶきによって天の万象をお造りなることが可能なだけでなく、私たちを真の愛で愛してください。あなたや私に神様がお約束してください。神様は真の愛をもって私たちを愛してください。夜空が神様の御口のいぶきによって造られた星々で満ちているように、地上は神様の真の愛で満たされています。私たちは御口のいぶきによる器であり、神様に愛される器です。

人生の困難なときには、私たちのまわりにある万象と私たちに命を吹き込まれた神様が、私たちに息をすることを思い起こさせてくださるということを感じましょう。

聖歌 392

祈り お父様。星々に満ちた夜を感謝します。夜空はあなたの無限で真実の愛を思い起こさせてくれます。あなたの慈しみの中で息をすることができますように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

シェリー・ルームズ
テキサス州 ラボック

御茶の水キリストの教会

4月16日(火)

罪にとらわれる

聖書朗読 詩篇 51:1~6

私は、自分でしたいと思う善を行なわないで、かえって、したくない悪を行なっています。
ローマ 7:19

善良な人々は、罪が入ってきたとき、神様から離れてしまったような感じがします。確かに、ダビデ王は預言者ナタンから罪の宣告を受けたとき、鋭い罪の意識を感じました。そして、ダビデは自分の過ちを後悔して、詩篇51篇を書いたと言われています。

このへりくだった詩篇において、ダビデは自分のそむきの罪を認めています。神様と反対の方向に行ってしまったことを認めています。そして、彼は自分の不正を認めています。ダビデは神様の道をゆがめてしまいました。神様の道ではなく、自分の道を進んでしまいました。ダビデはそむきの罪を告白しました。彼は神様に従うことを怠ってしまいました。そむきの罪、不正、罪、こういったものは、不安、罪の意識、無価値な感覚で心の重荷となります。

しかし、こうした中であっても、素晴らしい知らせがあります。御恵み深い神様、愛なる、慈しみ深い、優しさに溢れる神様は、悔い改めの心で赦しを求めらるご自身の子どもを赦してくださいませ。『もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。』(Iヨハネ 1:9)。このことは、罪にとらわれている人にとっての福音です。

讚美歌 529

祈り 聖なるお父様。私たちはあなたの素晴らしい救いをたたえ、感謝をささげます。私たちの心をあなたの愛なる御恵みで満たしてください。そして、そのことが、私たちが人々をイエス様のもとに導くこととなりますように。イエス様の御名において。アーメン。

ハロルド・L・シモンズ
テネシー州 ナッシュビル

4月17日(水)

イエス様はいつもなされたことをされます

聖書朗読 詩篇 46編

それから、起き上がって、風と湖をしっかりとつけられると、大なぎになった。
マタイ 8:26

3人の子どもたちの母親、結婚16年の妻、姉妹、娘、孫、義理の娘、友人などたくさんの方々に、私はときどき押しつぶされそうになります。自分の務めが、暴風のように私の周りで渦巻いているように感じるときもあります。人生の旋風の真ただ中にあるとき、私は、イエス様はいつも必ずそうなることをされるという信仰を持つことができます。

イエス様の弟子たちが湖で大暴風にあつたとき、彼らはイエス様のみもとに来ました。イエス様は、弟子たちのいのちの暴風を鎮められました(マタイ8:23~27)。

イエス様はいつも必ずそうなることをされます。イエス様は、常に変化するこの世にあって、ただ一つ変わらないご存在であり(今日の聖句の1節)、私を形造るために暴風を用いられ、イエス様のみこころにかなう者に私を造ってくださいませ。私がイエス様のようになりたいともっと努力するとき、イエス様は、多くの肩書きを負っている私に御恵みと知恵とを与えてくださるよう、御在天のお父様にとりなしてくださいませ。

暴風のただ中であっても、私は大丈夫です。なぜなら、イエス様がいつも必ずそうなることをしてくださるからです。

聖歌 573

祈り 親愛なる主よ。あなたは私の強固な塔です。困難なときに常にいてくださいます。私はあなたのおそばに参りますので、どうか私を引き寄せてください。感謝いたします。

イエス様の御名において。アーメン。

サンド・ドーリティー
カリフォルニア州 マリブ

4月18日(木)

神様のお約束

聖書朗読 詩篇 72編

彼らが、日と月の続くかぎり、代々にわたって、あなたを恐れますように。彼は牧草地に降る雨のように、地を潤す夕立のように下って来る。彼の代に正しい者が栄え、月のなくなるときまで、豊かな平和がありますように。

詩篇 72:5~7

次に新しい牧草地や庭に植えられた新しい芝生の香りをかく機会があったら、あなたは神様のお約束、神様の御恵みを思い起こすと思います。神様は、私たちの心に美しい絵を描かれるような叙景的なことばでお約束を表してください。新しい牧草地の香りをかいだことがありますか？ それは青々とした新鮮な香り、清々しい香りです。

「彼は牧草地に降る雨のように、地を潤す夕立のように下って来る」・・・私たちはこの描写に馴染みがあり、思い浮かぶ情景があります。このような清らかで新鮮な情景を思い描きながら、神様のことを思うことはなんて素晴らしいことでしょう。この清々しく、爽やかな情景を思い、私たちは、神様が私たちと永遠に、日と月の続くかぎり、ともにいてくださることを確信します。なんとという慰めでしょう。

そして、この情景を、さらに美しくし、神様が与えてくださった究極の素晴らしいお約束を実現するために、『正しい者が栄え、月のなくなるときまで、豊かな平和がありますように』と神様はお話ししてください。なんて素晴らしいお約束なのでしょう。あなたが栄え、豊かでありますように。神様は常に変わらず偉大なるお方です。

聖歌 521

祈り イエス様。私たちが愛して下さり、ありがとうございます。神様、私たちが愛して下さり、ありがとうございます。聖霊の神様、私たちが愛して下さり、ありがとうございます。父と子と聖霊は一つです。

イエス様の御名において。アーメン。

ジーン・ガン

テキサス州 ネーデルランド

4月19日(金)

わが家にまさる所なし

聖書朗読 詩篇 84:1~12

まことに、あなたの大庭にいる一日は千日にまかります。私は悪の天幕に住むよりはむしろ神の宮の門口に立ちたいのです。 詩篇 84:10

誰だって、快適な所に住みたいものです。自分の居場所と言える場所、1日のハードワークを終えて帰る場所、くつろいで、明日の元気を養う場所です。

詩篇の作者は、神様がいらっしゃるところが、それがどこであろうとも、最高の住まいであると信じています。人間にとって、神様とともに住む場所が素晴らしい場所であるだけではなく、あらゆる創造物にとって、そこは究極の住まいなのです。神の宮に住むものは、すべて祝福されます。

詩篇の作者は、屋根のある住まいが、すべての価値ではないことを知っています。神様を知らない人々と贅沢三昧に暮らすより、神の宮の門口に立っていることの方が良いです。感謝すべきことに、私たちのために今すぐ住まいを用意して下さるお方が、私たちにはいてくださいます。そして、そこは、なんとという素晴らしい場所なのでしょう！

ああ、神様とともにある家、安らかな神の大庭

イエス様と祝福されて者たちとともに、安全な住まいを確信します。

救い主の愛によって一度躓われた弱った魂を安め、

私が清められ、欠けたところのない者となり、神様を仰ぎ見ながら暮らす場所です。

トーマス・R・スイートモン

讃美歌 第二編 82

祈り 親愛なる主よ。私たちだけではなく、あなたの創造物すべてを愛して下さり、感謝いたします。あなたを間近に仰ぎ見る日を待ち望みます。

イエス様の御名において。アーメン。

ウェス・ホーン

テキサス州 スタンフォード

4月20日(土)

主を恐れる者は祝福される

聖書朗読 詩篇 112編

これで私は、はっきりわかりました。神はかたよったことをなさらず、どの国の人であっても、神を恐れかしこみ、正義を行なう人なら、神に受け入れられるのです。

使徒の働き10:34~35

ある人生相談の回答者が、彼女が受け取る手紙のほとんどが、恐れと関係していると言いました。「皆さん、健康やお金、あるいは愛する人を失うことを恐れています。人々は人生そのものを恐れているのです」。

しかし、正しい恐れとは、神様を恐れかしこみ、神様を知ることであり、そのことは私たちの恵みになり得ます。ソロモンはこのように結論づけています。『神を恐れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである。神は、善であれ悪であれ、すべての隠れたことについて、すべてのわざをさばかれるからだ。』(伝道者の書12:13, 14)。神様を恐れることは、私たちの祝福となるのです。

神様を恐れることは、人生の見方を健全で信仰深いものに変えます。クリスチャンは『地上にしばらくとどまっている間の時を、恐れかしこんで過ごしなさい。』(1ペテロ1:17)。私たちは、神様の子どもとしての関係を否定し、神様の聖さを汚すような生き方を恐れます。神様を恐れることは、私たちに自分が何者であるか、どのように生きるべきかを思い起こさせてくれます。

ジェイムズ・ヘイスティングスはこのように書いています。神様に向けられた恐れは「私たちに刺し抜く針であり、そして、それは私たちに天国に結びつける糸を運ぶものかもしれません」。神様を恐れることがもたらしてくれる祝福よりも偉大な祝福はありません。

聖歌 96

祈り 親愛なるお父様。私たちが絶えず成熟し、あなたを恐れ、愛し、従い、みことば喜ぶように助けてください。あなたのことを他のこととは切り離し、あなたを恐れかしこみ、聖なる恐れをもつことができますように助けてください。

あなたの御子の御名においてお祈りします。アーメン。

デイヴ・シュルツ

カリフォルニア州 ベンチャーラ

4月21日(日)

教えてください

聖書朗読 詩篇 119:33~40

主よ。あなたのおきての道を私に教えてください。そうすれば私はそれを終わりで守りましょう。

詩篇 119:33

子どもに「それ、どうやるかやってみて」とか「教えて」とせがまれるのは楽しいものです。彼らの方が「なんでも知っていて」、あなたの方が「ほとんど何も知らない」と思うときがやって来る前に、彼らが尋ねて知りたいと思うその気持ちをつかむことが大切です。私は、今日の聖書の箇所が好きです。今日の聖句は『主よ。あなたのおきての道を私に教えてください。』と子どものような心をつかみ、そして、『私に悟りを与えてください。』、『私に、あなたの仰せの道を踏み行かせてください。』、『私の心をあなたのさとしに傾かせて・・・』とお願いを続けます。

私は、将来の教師の訓練においては、動機づけ、教育、理解度のチェック、そしてそれを個別に行なう授業計画を立てるように指導します。私たちの究極の教師でいらっしゃるイエス様は、私たちが「どうしたらそれができるのですか?」とお伺いするように、私たちを動かされます。イエス様の軌跡は、イエス様が神様の仰せの道を示され、悟りを与えてくださり、正しい方向に変えられた心を持つイエス様に従う者たち残して下さったことを示しています。

すべての教師にとって、最高に報われるのは、教え子が「先生、ありがとうございます。あなたの教えは、私の人生を変えてくれました」と言ってくれるときです。ときには、それが何年もあとになることもあります。その人が若い人でも、年配の人でも、「教えて」という人に耳を澄ましましょう。そして、神様の道を示し、神様のお手本によって教えましょう。それが、彼らの人生に変化をもたらすことになるのです。

聖歌 511

祈り 親愛なる主よ。あなたの教えを求める子どものような心を常に持って、あなたの教えに耳を澄ますことができますように。人々を教えようと思う気持ちと能力を与えてください。

イエス様の御名において。アーメン。

スーザン・K・ジボニー

カリフォルニア州 マリブ